

国・公・私立大学の新任教員が大学の壁を越えて学び合い、交流する

第5回 新任教員研修セミナー

◆◆募集期間を延長しました◆◆

開催要項

日時 2015年8月29日(土)13:00~8月31日(月)13:00

会場 大学セミナーハウス(東京都八王子市下柚木1987-1)

趣旨

多様な(価値観、目的、能力等をもつ)学生に大学教育を受ける機会が飛躍的に拡大した今日、学生の意欲を高め、能動的な学びを通して自ら課題を発見して解決する力を培うことは、大学教員に課せられた最も重要なテーマです。新任教員研修セミナーでは、国公立大学の枠を越えた合宿形式の相互研修により、新たな時代にふさわしい大学教育のあり方を探ります。

セミナーの到達目標

他大学・他分野の教員との交流を通して、ユニバーサル・アクセス時代の大学教員にふさわしく、多様な(価値、目的、能力等をもつ)学生に対応するという教育方法を構想することができる。



参加者アンケートより

- ☆ 新任教員として学ぶべき課題が体系的にまとめられていて大変役に立った。(40代 私立大学・人文社会系)
- ☆ 他大学、他分野の先生との交流ができ、意見、考えを知って刺激になった。自分自身の教育観のヒントを得ることができた。(30代 私立大学・医歯薬系)
- ☆ 大学のあり方の根本についての講演があり、今後常にどのように大学教育に実践できるかを考えていきたい。(40代 国立大学・人文社会系)
- ☆ 実際の授業方法やシラバスなどを具体的に知ることができ、ぜひ参考にしたい。(30代 国立大学・人文社会系)
- ☆ 5年目、10年目の研修があればまた参加したい。(30代 私立大学・理工系)



公益財団法人 大学セミナーハウスは2015年に開館50周年を迎えます

主催:公益財団法人 大学セミナーハウス

共催:公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩



プログラム概要

1日目 8/29(土)

開会	13:00~13:30 大学セミナーハウス館長 学術・文化・産業ネットワーク多摩会長 新任教員研修セミナー運営委員長	鈴木康司 小川哲生 菊地滋夫
アイス ブレイク	13:40~14:10 司会: 明星大学人文学部教授	菊地 滋夫
SPA プログラム	14:40~17:30 *本プログラムは右下参照 「教える教育」から「支援する教育」へ SPAファシリテーター	鎌田 学
夕食 情報 交換会	18:30~20:30	

2日目 8/30(日)

講演①	9:00~10:30 学術の創造、継承そして公共性を担う大学 ——大学の多様化とアイデンティティ—— 東京理科大学科学教育研究科教授	北原 和夫
講演② 私の授業 【1】	10:40~12:10 学生参加型授業の実践 明星大学人文学部教授	菊地 滋夫
講演③ 私の授業 【2】	13:00~16:00 大人数教室での効果的な授業運営方法 桜美林大学リベラルアーツ学群教授	荒木 晶子
グループ 討論	16:20~18:00 問題意識の共有と授業改善 コーディネーター: 電気通信大学情報理工学部教授	史 傑
夕食 情報 交換会	18:20~20:00	

3日目 8/31(月)

シンポ ジウム	9:00~12:00 1. 学生の参加を引き出す学習環境構築の取り組み 桜美林大学リベラルアーツ学群講師 有賀 清一 2. 学習支援に果たす図書館の役割 一橋大学特任教授・前附属図書館長 江夏 由樹 3. 困難を抱える学生の理解のために—いま、私たちにできること— 明星大学学生サポートセンター長 村山 光子
現代大学 教育論	
閉会	12:00~12:20 修了証授与 記念撮影 大学セミナーハウス館長 鈴木 康司
昼食会	12:20~13:00



SPAプログラムについて

学びの場創りと知の創造を教師自身が学習者として体験することで、互いの気づきや学びを共有し、共に学び、共に育つ実践教育を体感する。

教師から学習者へ知識を伝える教育から、対話を通じて互いに学び合い可能性を惹き出す、支援する教育に意識を変容させ、自ら学び、自ら考え、自ら行動する人材を育成するアプローチを理解する。

知識とは、人が関係性の中で創る資源であり、他者から与えられるものではなく、自ら創り上げていくものという考えから、体験をふり返り実践するプロセスとサイクルを通じて、学び方を学び、知の活用法を考察する。

講師紹介

鎌田 学

【経歴】東海大学海洋学専攻科海技専攻修了後、団体職員、民間企業を経てアドベンチャー教育の指導者として活動。中央大学大学院戦略経営研究科戦略経営専攻を修了後、独立しアドベンチャーアプローチを用いた学習支援プログラム、チームビルディング、組織・人材開発プログラムデザインを実践。

【専門領域】MBA(経営学)、人的資源、体験学習、アドベンチャーアプローチによるカウンセリング、学習支援ファシリテーション、組織・人材開発(チームビルディング)

【主な活動や著書】日本産業カウンセラー協会東京支部シニアコース講座部副部長、日本人材マネジメント協会JSHRM編集部員、文部科学省研究開発学校東京都日野市平山小学校運営指導委員。研究論文『体験学習に伴う個人の行動変容』、『グループのちからを生かす』共著(C. S. L 学習評価研究所)

第5回新任教員研修セミナー開催にあたって

各大学では、それぞれの実情に応じて、様々なタイプの新任教員研修が実施されていますが、**実際に行われている授業の教育内容や方法にまで踏み込んだ研修**を実施している大学は希であるように思われます。

一般論としては、各授業の教育内容と方法は、各大学の建学の理念(教育目的)、各教育課程の到達目標、その授業のカリキュラム上の位置と、その授業を受ける学生の平均的学力と当該学問分野に関する既習の知識・技能との関係によって定まると言うことができます。

ユニバーサル・アクセスの時代を迎えた現在の大学には、たとえば、入学者選抜方法の多様化による平均的学生の学力と学習意欲の低下、学習に集中できない学生の増加、就職活動の長期化に伴う実質的な学習時間の減少、卒業生の資質(即戦力)に対する社会的要請の高まり、長期不況下の就職難による学生の目的喪失など、シラバスの作成や実際の授業実施に際して考慮すべき多くの困難が介在しています。私たち大学教員は毎日の授業の中で、恐らく20年前の教員なら予想することも出来ないような事態に直面し当惑していると言えましょう。

しかし、見方を変えれば、**多様な学生が大学教育を受ける機会が拡大したこと、大学と社会の新たな関係の構築が模索されている**ということは、**大学教員にとって創造的な転換へと動き出すチャンスである**と考えることも可能です。

周知のように、大学教員研修の重要な課題の一つとして授業開発があり、主として教育方法に関する研修が行われてきました。しかし、この種の研修が念頭に置いていたのは、主として知識・技能伝達型授業であり、いかにして学生に、一定程度の知識・技能を習得させるかを直接の目的としていたように思われます。これに対して、ユニバーサル・アクセスの時代の授業開発の目的は、**いかにして種々の困難を克服して学生の学習意欲を高め、能動的に授業に参加させるか**におく必要があるように思われます。

言い換えれば、中央教育審議会の答申等に見られるように、自ら問題を発見してそれを解決するという課題探求能力の育成が、現在の大学教育の課題とされています。しかし、この課題を解決するためには、まず眼前の様々な困難を実践的に克服しなければなりません。そのための**適切な方策は、何よりも同じ悩みを共有する同僚教員の相互研修**であると考えます。そして、そこには新たな時代にふさわしい大学教育のあり方を探るうでの重要なヒントが見つかるかもしれません。

大学セミナーハウスは、大学教員相互の交流を図ることによってわが国の大学教育の向上・発展に寄与することを目的としており、その一環として今年度も学術・文化・産業ネットワーク多摩との共催で**国公私立大学の枠を越えた合宿形式の新任教員研修**を企画しました。ご参加を心よりお待ちしております。

講師紹介

有賀 清一

【経歴】東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了(工学博士)後、民間企業から東京大学大学院 情報学環 助手を経、桜美林大学 ビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類非常勤講師を経て、2008年より同大学専任講師。

【専門領域】流体シミュレーションを用いた身の回りの情報可視化、eラーニングシステムの構築(キーワード:流体力学、シミュレーション、バーチャルリアリティ)

【主な活動や著書】第5回文化庁メディア芸術祭インタラクティブアート部門審査委員会推薦作品受賞。バーチャルリアリティのための高精度リアルタイム流体シミュレーション開発。e-Learningによる大学生向けリメディアル教育の取り組みなど。

江夏 由樹

【経歴】ミシガン大学歴史学部博士課程修了(Ph.D in History)、その後、一橋大学経済学研究科教授、同研究科長・学部長を経て、一橋大学附属図書館長等を務める。2014年より一橋大学特任教授、同名誉教授。

【専門領域】東北アジア経済史

【主な活動や著書】*Banner Legacy* (Center for Chinese Studies, University of Michigan, 2004) など。

村山 光子

【経歴】中央大学大学院総合政策研究科修了後、民間企業から明星大学へ転職。明星大学秘書課、学生支援センター等を経て、同大学学生サポートセンター長。

【専門領域】学生支援、学生相談、発達障害者支援(産業カウンセラー、特別支援教育士、学生支援コンサルタント)

【主な活動や著書】2007年から発達障害を有する学生の支援「STARTプログラム」を運営。各大学のFD/SD研修会講師などを担当。

新任教員研修セミナー運営委員

菊地 滋夫(委員長)

【経歴】東京都立大学博士(社会人類学)、明星大学人文学部教授。

【専門領域】東アフリカ海岸地方の宗教・権力・ジェンダーについての社会人類学的研究

【主な活動や著書】日本文化人類学会、日本アフリカ学会、日本ナイール・エチオピア学会、初年次教育学会会員。『文化人類学を再考する』(共著)、『アフリカの都市的世界』(共著)、『呪術化するモダニティ』(共著)など。

荒木 晶子

【経歴】サンフランシスコ州立大学大学院(コミュニケーション学修士)、スタンフォード大学客員研究員を経て桜美林大学リベラルアーツ学群教授。

【専門領域】スピーチコミュニケーション、異文化コミュニケーション

【主な活動や著書】『伝わるスピーチAtoZ』『自分を活かすコミュニケーション力』『自己表現力の教室』『口語表現ワークブック』『異文化コミュニケーション・ワークブック』『異文化接触の心理学』など。

江夏 由樹

【経歴】ミシガン大学歴史学部博士課程修了(Ph.D in History)、その後、一橋大学経済学研究科教授、同研究科長・学部長を経て、一橋大学附属館長等を務める。2014年より一橋大学特任教授、同名誉教授。

【専門領域】東北アジア経済史

【主な活動や著書】*Banner Legacy*
(Center for Chinese Studies, University of Michigan, 2004) など。

北原 和夫

【経歴】ブリュッセル自由大学博士(理学)、マサチューセッツ工科大学研究員、東京大学理学部助手、静岡大学教養部助教授、東京工業大学理学部助教授、同教授、国際基督教大学教養学部教授を経て、2011年より東京理科大学科学教育研究科教授。東京工業大学・国際基督教大学名誉教授。

【専門領域】物理学、科学教育

【主な活動や著書】NPO物理オリンピック日本委員会理事長、加藤山崎教育基金理事、東京女子大学評議員、自由学園評議員など。著書に「非平衡系の統計力学」「プリゴジンの考えてきたこと」など。

史 傑 (Shi, Jie)

【経歴】中国、シンガポールの大学を経て、国際基督教大学で教鞭を執った後、電気通信大学情報理工学部教授(英語)。

【専門領域】英語教育学(カリキュラムデザイン)、社会言語学(バイリンガリズム)、ESP(専門分野のための英語教育)、FD/PD(Faculty Development/Professional Development)

【主な活動や著書】全国語学教育学会、大学英語教育学会、アジア英語学会、IEEE-PCS、国際マルチリガリズム学会会員。『近年の中国高等教育政策の改革』『理工系大学生のためのEFLカリキュラムデザインの実践とジレンマ』『日本におけるマルチリガリズムについての研究』『FD-大学教員養成の要』など。

■ 募集要項

- ・参加対象: 国公立大学で授業を担当する新任教員(年齢不問)
- ・参加費: 大学セミナーハウス協力会員校教員 35,000円
学術・文化・産業ネットワーク多摩会員 45,000円
一般校教員 50,000円
※参加費には宿泊・食事・資料代、消費税を含みます。
- ・定員: 40名
- ・申込方法: 「八王子セミナーハウス」HPの申込フォームよりお申込みください。
- ・申込締切:
- ・お問合せ先: 公益財団法人 大学セミナーハウス
TEL 042-676-8532 / FAX 042-676-1220
E-mail seminar-g@seminarhouse.or.jp
URL <http://www.seminarhouse.or.jp/>



交通アクセス



セミナーハウス本館

- 東京駅より約1時間30分、羽田空港より約2時間
- 最寄駅 JR八王子駅 } 各駅よりバス→約15~25分
京王線北野駅 } (野猿峠バス停下車徒歩5分)
京王相模原線南大沢駅 } 各駅よりタクシー→約10~15分

* 詳しくはホームページの〈交通案内〉をご覧ください。

